

2024.6.8 sat
at NAKANO ZERO

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

共催：なかのZERO指定管理者

助成：

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

ARTS COUNCIL TOKYO 

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
【東京ライブ・ステージ応援助成】

後援：一般社団法人全日本吹奏楽連盟

東京都吹奏楽連盟

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会

公益財団法人日本音楽教育文化振興会

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

一般社団法人日本吹奏楽普及協会

日本コロムビア株式会社

株式会社テレビマンユニオン



<https://www.tkwo.jp/>



Tokyo Kosei Wind Orchestra

Subscription Concert
2024-2025

#165

Norichika Iimori
Conductor

PROGRAM | プログラム

オーロラは目覚める／J.マッキー

Aurora Awakes／John Mackey

[約12分半]

ソプラノ・サクソとウインド・アンサンブル のための協奏曲／J.マッキー

Concerto for Soprano Sax and Wind Ensemble／John Mackey

- | | | |
|------|--------|------------|
| 第1楽章 | プレリュード | I. Prelude |
| 第2楽章 | フェルト | II. Felt |
| 第3楽章 | メタル | III. Metal |
| 第4楽章 | ウッド | IV. Wood |
| 第5楽章 | フィナーレ | V. Finale |

[約25分]

休憩 Intermission [20分]

翡翠／J.マッキー

Kingfishers Catch Fire／John Mackey

- | | | |
|------|----------|--------------------------------------|
| 第1楽章 | 雨上がりに... | I. Following falls and falls of rain |
| 第2楽章 | 焔の如く輝き | II. Kingfishers catch fire |

[約11分半]

レッドライン・タンゴ／J.マッキー

Redline Tango／John Mackey

[約9分半]

フローズン・カテドラル／J.マッキー

The Frozen Cathedral／John Mackey

[約14分]

❗ 注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。

本公演に関する
アンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | 指揮者プロフィール



首席客演指揮者

飯森 範親

Norichika Iimori

Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。

また、オペラでも高い評価を得ており、新国立劇場の2020/2021シーズン開幕公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。2024年には新国立劇場「コジ・ファン・トゥッテ」、藤原歌劇団創立90周年記念公演「ピーア・デ・トロメイ」への出演が予定されている。

現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

PROFILE | ソリストプロフィール



コンサートマスター

林田 祐和

Hirokazu Hayashida

Saxophone

宮崎県出身。東京藝術大学卒業・同大学大学院修士課程修了。第22回日本管打楽器コンクール・サクソフォン部門において審査員満場一致の第1位。これまでにソリストとして、藝大フィルハーモニア、日本フィルハーモニー交響楽団、東京シンフォニエッタ、東京佼成ウインドオーケストラなど共演を行っている他、オーケストラの中のサクソフォニストとして、主要オーケストラに多数出演。クローバー・サクソフォン・カルテットのソプラノサクソフォン奏者。2007年東京文化会館にて超満員のデビューリサイタルを皮切りに、紀尾井ホール、浜離宮朝日ホールなどでリサイタルを開催し、いずれも大成功をおさめた。

自由で堅実なプログラミングと、サクソフォンのイメージを変えてしまう響きは、クラシカルサクソフォンの新たな王道として、その可能性を広げ続けている。

キングレコードよりアルバム「クローバー」(2008年)「プレシャス」(2011年)「ゴルトベルク変奏曲」(2015年)リリース。中でもサクソフォン四重奏曲の名曲、デザンクロ、シュミット、サンジュレーの四重奏曲を収録した「プレシャス」はレコード芸術誌特選盤、音楽の友誌注目版、読売新聞特選盤を獲得し、クラシカルサクソフォンの名盤として多くの音楽ファンの心を掴んだ。

清水靖晃 & サクソフォネッツのメンバーとして、ビクターエンタテインメントより「ペンタトニカ」、エイベックス・クラシックスより「ゴルトベルク・ヴァリエーションズ」リリース。また、CM、ドラマなどのレコーディングにも多数参加している。

PROGRAM NOTES

曲目解説—中橋愛生(TKWO楽芸員)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。



■ ジョン・マッキーについて

吹奏楽の世界において、いま最も注目を集めているアメリカの作曲家がマッキーである、というのには多くの人が同意するだろう。世界中で演奏され、数多くの作曲委嘱を受け、そのほぼ全てが熱狂的に支持されている。TKWOが定期演奏会においてプログラム全曲をただ一人の作曲家の作品だけで構成したのは、編曲作品であるワーグナー(第116回)、プッチーニ(第129回)、ショスタコーヴィチ(第147回)を除くと、1982年(第31回)のアルフレッド・リード自作自演以来となる。この事からも、いかに重要な作曲家であるかが分かるだろう。では、そんなマッキーはどのような経歴なのであろうか。

マッキーは、1973年にオハイオ州ニューフィラデルフィアで生まれた。父は海軍軍楽隊のトランペット奏者を務め、現在はアマチュアのサクソフォン奏者として演奏活動が続けている。さらに母はアマチュアのフルート奏者、姉がクラリネットとピアノのレッスンを受けていた、ということもあって、マッキーも幼い頃からピアノ、ヴァイオリン、ギター、打楽器をたしなんだが、長続きはしなかった。以降、正式な音楽のレッスンは大学受験を迎えるまで受けていない。しかし9歳のとき、楽器店を営むフルートとクラリネットの愛好家であった母方の祖父にパソコンの音楽ソフトを紹介され、祖父から読譜の手ほどきを受けるうちに、音楽に対して興味を持つようになる。やがて別の音楽ソフトを入手すると、これに母親が勤めていたオハイオ州立大学の音楽図書館から楽譜を借りてきて打ち込むことで独学で作曲を学び始める。マッキーが残せると思う作品を書けるようになったのは15歳の頃からで、当時の作品『ヴァイオリンとピアノのためのエレジーとファンタジー』(1989, 1991)は、マッキーのwebサイトで確認することができる。この頃の作品はサミュエル・バーバーの影響が色濃かったという。

大学で作曲を学ぶことを決意したマッキーはクリーブランド音楽大学に進む。マッキーはピアノのレッスンをひどく嫌っており、入学試験科目にピアノ実技が無いことを理由に進学先を決めたとのこと。そこでは作曲をドナルド・アーブ(1927-2008)に師事。アーブ本人はいわゆる

前衛書法の作曲家として知られているが、教師としては学生の書きたいものを自由に書かせる方針だったらしく、当時ショスタコーヴィチのような曲を作っていたマッキーはのびのびと書かせてくれたことに感謝しているという。そんな折、1994年にクリーブランド音楽大学での招聘講義に訪れていたジョン・コリリアーノ(1938-)と出会う。コリリアーノは自作『クラリネット協奏曲』(1977)をクリーブランド管弦楽団が演奏するに際して訪れており、その思想と同曲に惹かれたマッキーは、コリリアーノに師事すべくジュリアード音楽院の修士課程に進学する。当初はそれまでとの環境の違いで思うように作曲ができなかったそうだが、やがてダンス学科の学生たちとのコラボレーションを行うようになり、その縁によって修了後の8年間はダンスのための音楽を中心に作品を発表している。第一線で活躍する振付師とのコラボレーションも多く、2004年のアテネ・オリンピックの際のシンクロナイズド・スイミング(現:アーティスティック・スイミング)のアメリカ代表の音楽もマッキーの作『Damn』(1998)だ。このダンス・ミュージックの作曲は、マッキーのその後の音楽の原点とも言えるもので、複雑な変拍子への偏愛は、この頃のコラボレーターだった振付師ロバート・バトルが変拍子好きだったことに由来する。この期間、ASCAP(アメリカ作曲家作詞家出版者協会)から賞を授与されたり、複数の管弦楽団のレジデンス・コンポーザーを務めるなどし、マッキーは経験と実績を重ねていった。

マッキーと吹奏楽との出会いは2003年。当時、ユース・オーケストラの教育プログラムに作曲家として参加していたマッキーは、たまたまスケジュール的に空いていて近隣で行われていたCBDNA(全米大学吹奏楽指導者協会)のカンファレンスに参加する。それは、ジュリアード音楽院の同期であったエリック・ウィテカーから吹奏楽を書くことを勧められていたため、気まぐれで参加した程度の動機だった。しかし、夜の会合でASCAPのディレクターであるフランシス・リチャードがマッキーのことを「コリリアーノの弟子でウィテカーの友人で優れた作曲家だが、吹奏楽作品を作ったことがない」と他に参加していた吹奏楽指導者たちに紹介し、吹奏楽作品を書かせるように呼びかける。結果、マッキーはエモリー大学のスコット・スチュワートとラマー大学のスコット・ヴァイスという二人の吹奏楽指導者の知己を得る。この二人が組織したコンソーシアム(複数の演奏団体などによる共同委嘱)によって、管弦楽からの吹奏楽編曲『レッドライン・タンゴ』とマッキー初の吹奏楽オリジナル作品『サスパリラ』(2005)が誕生することとなる。以降、2024年5月現在までに35曲を超える吹奏楽作品を発表している。その中で、特にエポックな作品を集めたのが今回のプログラムだ。

TKWOがマッキー作品を演奏したのは、2005年の第87回定期での『サスパリラ』が初。つまり、マッキーを吹奏楽デビュー直後に日本へ紹介したことになる。そこからの20年の歩みを体感したい。

オーロラは目覚める

2009年にステュアート高等学校の吹奏楽団の委嘱によって作られ、同年のABAオストウォルド作曲賞とNBAウィリアム・レヴェリ記念作曲賞を同時に受賞するという快挙を成し遂げた作品。いわばマッキーの評価を確立させた出世作と言えるだろう。

マッキー自身の解説には古代ローマの詩人ウェルギリウスによる叙事詩「アエネーイス」の一節が引用されている。タイトルは、そこに登場するローマ神話の「暁の女神」のこと(気象現象のオーロラの名の由来でもある)。その目覚めは夜明けであり、曲も進むにつれて段々と光が増し輝きに溢れていくような音楽になっている。ゆったりとした前半、快速な後半と、2つの部分で構成されており、その後半にはアイルランド出身で日本でも人気のあるロックバンドU2の『Where the Streets Have No Name(約束の地)』のギターによるイントロがオスティナートとして引用されている。何らかのサブ・カルチャーを引用するのは多くのアメリカの同時代アート(美術を含む)に見られる傾向で、音楽においてはコリリアーノとその門下生に特に顕著。マッキーもその延長線上にいたことが聞き取れる。さらに、曲の最後には吹奏楽の古典中の古典として知られるホルスト『吹奏楽のための組曲 第1番』の第1曲「シャコンヌ」の終結和音が「最も明るい和音」としてオーケストレーションまで含めほとんどそのまま使われている、というのもユニークだ。

ソプラノ・サクストと ウインド・アンサンブルのための協奏曲

2006年3月、『レッドライン・タンゴ』のABAオストウォルド作曲賞授賞式において、同曲をジェリー・ジャンキン指揮のダラス・ウインド・シンフォニーが演奏した。そのリハーサル後に同団の首席サクソフォン奏者ドナルド・フェビアンがマッキーに協奏曲を作曲してほしいと熱望し、ジャンキンに委嘱を提案する。ただちにジャンキンは同年9月にコンソーシアムを組織、ジャンキン率いるテキサス大学を中心とした28の演奏団体からの共同委嘱として2007年の夏に作曲が開始された。9月7日に完成したこの曲は、2007年10月23日にマイヤーソン・シンフォニー・センターで初演されている。

作曲の最初のアイデアはマッキーの妻から提示された「宇宙人が地球を訪れ、初めてソプラノ・サクソフォンを見る。この奇妙な楽器はなぜこのような動きをするのか研究し、これで何ができるのかを試行錯誤する」というもの。ここからマッキーは、サクソフォンの材料となっている3種類の

素材「フェルト(キーのパッド)」「メタル(管体)」「ウッド(リード)」をテーマにした楽章を持つ協奏曲を構想した。また、マッキーは吹奏楽を構成する全ての楽器(コントラバスやハープも含めて)が、同様にこれら3つの素材に分類できるとし、伴奏パートの編成を楽章タイトルと呼応させている。この3つの楽章をプレリュードとフィナーレで挟む、という5つの楽章で全曲は構成されているが、作曲順としては、まずフィナーレの終結部が作られ、それを素材として2〜4楽章、フィナーレの残り、最後にプレリュードが作られたという。これにより両端楽章が内部の楽章の動機を内包する、という強固な構造の協奏曲としてまとまっている。

第1楽章：プレリュード

疾走する音楽のなか、この後に登場する素材が断片的に次々に登場する短い導入。金属系の打楽器の余韻が引き延ばされるなか、アタッカで次の楽章へ。

第2楽章：フェルト

ティンパニの乱打で開始される快速楽章。指遣いの探究がテーマで技巧的なパッセージが顕著。随所で登場するのは、マッキーいわく「クレイジーな効果音」。宇宙人がソプラノ・サクソフォンを発見し、その楽器が出す奇妙な音を解明しようとしている、というような音響だ。アメリカのロック・ミュージシャンであるダニー・エルフマンがイメージされたクラリネットのオスティナートも印象的。

第3楽章：メタル

サクソフォンの高音域の美しさに注目した抒情的な緩徐楽章。「金属」を持つ楽器の響きのなか、ジャズ・クラブで演奏されるような「親しみやすい楽器」としての顔も聞かせる。

第4楽章：ウッド

木管楽器を主体とした楽章(フルートは金属管だが伝統的には木製、とはマッキーの弁)。委嘱のきっかけとなった『レッドライン・タンゴ』を踏まえ、この楽章もタンゴ、だという。

第5楽章：フィナーレ

管楽器のための協奏曲を書くにあたり、マッキーが想起したのは師であるコリリアーノの作品で最もマッキーに影響を与えた『クラリネット協奏曲』。その引用でこの楽章は開始される。コリリアーノの作品自体もルネサンス期の作曲家ジョヴァンニ・ガブリエリの『ピアノとフォルテのソナタ』の引用だが、マッキーはコリリアーノが行った和声付けやオーケストレーションをも模倣している。その後、超絶技巧を駆使した後にカデンツァになり、「サクソフォンとは怪物のように難しいものを演奏できる」という答えを示して曲を閉じる。

ちなみに、マッキーは引用についてコリリアーノに許可を取ったのだが、コリリアーノはこの曲の初演後すぐに作曲した打楽器協奏曲『奇術師』(2007)において、「木」「金属」「皮」という楽章を取り入れるお返しをしている。

翡翠

2004年、ニューヨークで開催されたCBDNAに参加した、当時TKWOのテナー・サクソフォン奏者であった仲田守ら7名は、そこで初演されたマッキーの『レッドライン・タンゴ』吹奏楽版を聴き、感銘を受ける。仲田は日本管楽合奏指揮者会議(JWECC)を主宰し、その同志たちとともに数々の重要な作品を日本に紹介したり、新作の委嘱初演を行っており、マッキーにも新作を依頼したいと考え、7つの団体とその指揮者によるコンソーシアムの結果、本作が誕生することになる。初演は2007年3月17日、齊藤一郎の指揮でJWECCスペシャルバンドによる。

タイトルの「翡翠」は「カワセミ」と読む。光り輝く羽を持った美しい姿は、太陽の光に照らされると、あたかも燃えているようにも見える。また、原語でのタイトルはヴィクトリア朝時代のイギリスの詩人ジェラード・マンリ・ホプキンスの詩『As Kingfishers Catch Fire』から採られたもので、ここには「万物の持つそれぞれの内に秘めた美しさを表現する」という曲の意図が込められているという。曲は、マッキーがかつてパーソンズ・ダンス・カンパニーのために作った『Annuals』(2001)を基に再構成された、対照的な二つの楽章を持っている。

第1楽章：雨上がりに...

雨上がりの静かな朝に巣からゆっくりと現れるカワセミの姿に、これからの希望を重ね合わせた静謐な楽章。フリューゲルホルンやオフ・ステージで演奏されるトランペットが印象的に響く。

第2楽章：焰の如く輝き

太陽の光に向かって、まるで焰のような輝きをまとって飛び立っていくカワセミの姿を描いた躍動的な楽章。終盤、様々なところからトランペットが鳴り響く。

レッドライン・タンゴ

マッキーが2004年に初めて吹奏楽のために書いたスコアで、その経緯は冒頭に記した通り。元々は管弦楽のための作品で、ブルックリン・フィルハーモニーの委嘱で作られ、2003年2月に初演されている。吹奏楽版は2004年に8つの大学のコンソーシアムによって作られ、2004年2月26

日にスコット・ステュワート指揮のエモリー大学によりCBDNAのカンファレンスにて初演された。この作品が2004年のウォルター・ピーラー記念作曲賞と2005年のABAオストウォルド作曲賞を受賞したことで、一躍マッキーの名は轟くことになる。

タイトルの「レッドライン」には2つの意味があり、1つはエンジン回転数の限界を示す線、もう1つは当時のマッキーの居住地と初演会場を結ぶ地下鉄の路線名である。このスリリングな音楽の真ん中に、物憂げなタンゴが挟まる構成となっている。マッキーは当時、アルビン・エイリー・ダンス・カンパニーとも仕事をしており、その振付師であるロバート・バトルと懇意であった。そのバトルのために作った『ブレイクダウン・タンゴ』(2000)が、この曲の基となっている。なお、コリリアーノの勧めにより、吹奏楽版はタンゴ部が管弦楽版より半音高くなっている。

フローズン・カテドラル

2012年にノース・カロライナ大学グリーンズボロ校(UNCG)を中心とした11の大学によるコンソーシアムの委嘱で作曲され、2013年3月22日にジョン・ロック指揮のUNCGによって初演された。

北米大陸最高峰、かつてマッキンリー山と呼ばれていたアラスカにある山は、現在は「デナリ」と呼ばれている。これはアラスカ・コユーコン族の言葉で「偉大なる者」という意味だ。そして、スコアには「for J.P.」との献辞があり、これはロックの息子のこと。若くして逝去したその息子がデナリや周辺の大自然に魅了されていたことから、その思い出に捧げる曲として依頼されたのである。しかし、同時にコンサート最後の曲として演奏される作品としての委嘱でもあったため、そのギャップに悩んだマッキーは、ほぼ全ての曲のタイトルを付けている妻に相談したところ「人々を惹きつける山とは、崇高な、超越したものであり、そこに巡礼に行く、つまり教会のようなものである」としてこの題名が提案された。

曲には冷たく金属的な音色を持つ打楽器や鍵盤楽器が多数使用されており、それらは空間的にも配置され、立体的に響きわたる。また、バス・フルートなどによる祈りの歌も奏でられ、凍れる大聖堂への祝祭的な巡礼が幻出する。

〈敬称略〉

TKWO Season Concert Schedule 2024-25

会場：なかのZERO 大ホール

第166回 定期演奏会

オストウォルド賞の系譜

2024年 9月28日[土] 開演18:30(開場17:45)

指揮 大井剛史 (常任指揮者)

- 朝鮮民謡の主題による変奏曲/J.B.チャンス ● 交響曲第1番/J.バーンス
- 交響組曲/C.ウィリアムズ ● シンフォニア/周天

[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円

発売日:会員先行 2024年6月3日(月)/一般発売 2024年6月10日(月)



© Hajime Ohno

第167回 定期演奏会

マスランカ・チクルス Vol.2

2025年 1月11日[土] 開演18:30(開場17:45)

指揮 大井剛史 (常任指揮者) ピアノ 鈴木 慎崇*

- プーレスク風ロンド(1972年委嘱作品)/伊福部 昭
- 交響曲第9番*/D.マスランカ

[1回券]一般 5,000円/U25 2,500円 発売日:調整中



© Shinsuke Suzuki

※全席指定・税込 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者、曲目、時間等は変更にある場合がございます。
※会員先行は定期会員・サポーターズクラブ会員対象。

東京佼成ウインドオーケストラ 公演情報

クリスマスコンサート2024

2024年 12月17日(火) 19:00(開場:18:15)

東京オペラシティ コンサートホール:タケミツメモリアル

指揮: 大井剛史(常任指揮者)

ゲスト: 沼尾みゆき(歌)、ジェイコブ・コーラー(ピアノ)

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し

高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くの録音・メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル

常任指揮者 …… 大井剛史

特別客演指揮者 …… トーマス・ザンデルリンク

首席客演指揮者 …… 飯森範親

楽芸員 …… 中橋愛生

指揮 …… 飯森範親

ソプラノ・サクソフォン …… 林田祐和

演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太

Flutes …… 前田綾子(BassFlute)、臼井源太、
清水涼花、白石法久(AltoFlute)

Oboes …… 宮村和宏(EnglishHorn)*、
桜田昌子

EnglishHorn …… 梅枝理恵

Bassoons …… 福井弘康*、宮部貴絵

ContraBassoon …… 大内洋介

Clarinet in E b …… 松生知子

Clarinet in B b …… 大浦綾子、林裕子*、船橋菜里、
栗生田直樹、河西拓也、神田将吾、
北岡羽衣、草野裕輝、徳武敦

BassClarinet …… 岡本昇大、笹岡航太

ContraBassClarinet …… 原浩介

AltoSaxophones …… 林田祐和*、江川良子、齊藤健太、
都築惇(SopranoSaxophone)

TenorSaxophone …… 松井宏幸

BaritoneSaxophone …… 栃尾克樹

Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
本間千也*、川村大、清川大介、
久保義一、三浦彩夏、箕輪瑠璃子

Horns …… 堀風翔*、小助川大河、葛西亮、
北山順子、吉澤夏未

TenorTrombones …… 今村岳志*、今込治、住川佳祐、
高瀬新太郎

BassTrombone …… 久保田和弥

Euphoniums …… 岩黒綾乃、大山智

Tubas …… 池田侑太、次田心平

Contrabass …… 前田芳彰

Timpani …… 坂本雄希

Percussion …… 渡辺壮*、和光光世、石川大樹、
岩下美香、内田真裕子、岡田満里子、
荻原松美、竹泉晴菜、西久保友広、
堀尾愛、本間雄也

Harp …… 高野麗音

Piano …… 馬場翔太郎(Celesta)

Organ …… 新山恵理

※演奏委員

コンサートマスター

林田祐和

副コンサートマスター

宮村和宏

インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

企画委員

原浩介

役員

理事長 …… 勝川本久

常務理事 …… 八反田弘

専務理事 …… 堀風翔

監事 …… 清水宏一

事務局

事務局長 …… 勝川本久

事務局次長 …… 堀風翔

事務局長補佐 …… 八反田弘

制作

篠原華

大橋証太(ステージマネージャー)

羽田紀子(ライブラリアン)

広報

尾崎真也

荻沼美帆(チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ

荻沼美帆

尾崎真也

佐原由起

総務

佐原由起

岩崎友香(パーソナルマネージャー)

経理

水本孝枝

賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する
活動を行い豊かな社会を実現するため、
趣旨にご賛同いただける
多くの皆様からの
継続的なご支援が必要です。
賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX:03-5341-1255 MAIL:patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2024年5月1日現在)

法人会員

特別会員	(株)佼成出版社	匿名1名
維持会員	エーユーツーリスト((株)アコード) 名古屋 宗次ホール (株)ビルドエスアンドアール	
賛助会員	株式会社アシストジャパン 遠藤製作所 遠藤悦治 株式会社CAFUALレコード 株式会社サンテックピオズ 株式会社全音楽譜出版社 中央鉄鋼 有限会社 株式会社プリマ楽器 柳澤管楽器株式会社	アトリエ・エム株式会社 海鮮食堂余市の仲間達 管楽器専門店ダク 鈴木住地(有) 立花産業(株) フォスターミュージック株式会社 みずほ証券株式会社

個人会員

特別会員	アイちゃん	天野 正道	加賀美 猛	菅野 泰正
	田中 淳子	林 正作	久末とまこ	古沢 秀明
	ミーゴ	山内 幸人		

匿名5名

維持会員：175名 / 賛助会員：94名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2024年5月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター
ブレーン(株) 広島本社
ブレーン(株) 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザ クラリネット ショップ
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
(株)ヤマハミュージックジャパン 横浜店
(株)池袋音楽学院
(株)CAFUALレコード
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルート専門店 テオバルト

アトリエ・エム株式会社
イシバシ楽器 横浜店
フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウィンズスタイル
フォスターミュージック株式会社
金管楽器修理調整 浅香工房
葡萄房 by THE CAMEL
吹奏楽酒場「宝島。」
金寿司
フローリスト花六
中華 大柄
海鮮食堂余市
おぐセンター
ワイン酒場トンマーズ
小林メディカルファミリー薬局
天ふじ
立花産業株式会社

▼個人のお客様

渡邊 直子
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか?
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集して
おります。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・
オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

Original goods

— TKWO オリジナルグッズ —

好評
発売中



4年振りのシリーズ最新作、
クラウドファンディングのご支援で遂に発売!

New Sounds in BRASS 2024

Track List

1. Welcome to the Tokyo III jazz club
／鷺巣詩郎／挟間美帆／天野正道 編
2. ディズニー・メドレー・リターンズ／星出尚志 編
3. 誰も寝てはならぬ／G.ブッチーニ／三浦秀秋 編
4. Tomorrow ～「生きもの地球紀行」エンディングテーマ～
／杉本竜一／鈴木英史 編
5. ジャパニーズ・グラフィティXXII シティ・ポップ・メドレー
／金山徹 編
6. YOASOBIメドレー／Ayase／高橋宏樹 編
7. SPY×FAMILYメドレー／鈴木瑛子 編
8. マンボ・メドレー／天野正道 編
9. アフリカン・シンフォニー2024／V.マッコイ／三浦秀秋 編



定価 ¥3,000(税込)
指揮 天野正道
演奏 東京佼成ウインドオーケストラ
録音 小貝俊一
発売 株式会社フロレスタン
品番 GNSB-0049

好評
発売中

ほかにも多くの商品をご用意しております。

ご購入・詳細はこちら▶



MADE IN FRANCE

HIROKAZU
HAYASHIDA
CHOSE
SELMER Paris

林田 祐和

TOKYO Kosei WIND ORCHESTRA
東京佼成ウインドオーケストラ

NONAKA いい楽器をあなたのもとへ

野中貿易株式会社 | ノナカ・ミュージックハウス www.nonaka.com





KOSEIレーベルを 音楽配信サービスで

iTunes、Apple Music、Spotify、Amazon Music、LINE MUSICを
はじめとする各音楽配信サービスにて1000曲を超える楽曲を好評配信中！
1979年の初リリース以降、ポジティブに、かつ体系的に送り出されたコンテンツは、
質・量ともに他の追従を許さない。世界に類例を見ない吹奏楽曲の数々を配信で！

主な配信サービス



iTunes



Spotify



Amazon Music



LINE MUSIC

株式会社 佼成出版社
〒166-8535 東京都杉並区和田2丁目7-1 普門メディアセンター
03-5385-2311(代表)



YAMAHA
Make Waves

A NEW GENERATION OF TUBA

新発売！



YCB-623S



YCB-623
※特別生産モデル

YAMAHA PROFESSIONAL TUBA AND MOUTHPIECE

NEW YCB-623S

NEW YCB-623 特別生産モデル

- 調子：C ■材質：イエローブラス ■直径：476mm
- ボア直径：I-IV：19.0mm (V：19.5mm)
- 高さ：920mm
- 仕上げ：銀メッキ(623：クリアラッカー)
- バルブ：4ピストン+1ロータリー
- 吹送管：フローティングリードパイプ(材質：ゴールドブラス)

NEW BB-69D2

- シャック：アメリカンシャック
- リム内径：32.86mm
- スロート径：8.00mm
- リムカンター：やや丸い
- リムの厚さ：やや薄い
- カップ深さ：やや深い
- バックボア：標準



BB-69D2

お問い合わせ

株式会社ヤマハミュージックジャパン
お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器部
ナビダイヤル：0570-013-808 つながらない場合は053-411-4744へおかけください。
受付時間：月～金 10:00-17:00(土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)

製品情報は
こちら



ヤマハ管楽器
安心アフターサポート

※申込期間は、ご購入後1ヶ月以内



株式会社ヤマハミュージックジャパン